

# たまっこ通信 第1号

令和7年8月26日発行  
石川支援学校たまかわ校  
地域支援センターたまっこ



たまかわ校マスコット

ありす&りすた

7月25日（金）に「地域の学習会」を開催しました。近隣市町村のこども園、小学校、中学校、児童発達支援事業所、教育委員会等からご参加頂き、たまかわ校の職員と一緒に学ぶことができました。前半は、3つのグループに分かれて分科会を行いました。1グループは、「就学の仕組みについて」、2グループは、「自立活動について」、3グループは、「授業づくりについて」の分科会を行い、子どもたちの支援についてみんなで一緒に考えました。後半は、石川支援学校特別支援教育アドバイザー小河原健一先生から、「特別な支援を必要とする幼児児童生徒の支援について」の講話をいただきました。氷山モデルや愛着障がい、ユニバーサルデザインの視点など多くのことを学ぶ機会となりました。

## 地域の学習会の様子 ～分科会～



1グループ  
「就学の仕組みについて」  
～子どもの見方と  
適切な学びの場の考え方～



2グループ  
「自立活動について」  
～児童生徒の実態に応じた  
自立活動の指導内容～



3グループ  
「授業づくりについて」  
～支援が必要な幼児児童生徒  
の指導・支援方法～

## ～講話～

### 「特別な支援を必要とする 幼児児童生徒の支援について」

講師  
特別支援教育アドバイザー  
小河原 健一 先生



## ～参加者感想～

- ・分科会での演習も様々な見方が知れて勉強になりました。
- ・自立活動をどう取り入れていくか話し合いができました。
- ・授業づくりについて、先生方と一緒に考え、仕掛けを出し合ったことで、どのような仕掛けがあるか分かりました。
- ・愛着障がいに対する対応方法を具体的に知ることができ、大変参考になりました。
- ・障がい特性に応じた支援について（氷山モデル）背景を探り具体的な対応を検討していくことが参考になりました。